

○吉本議長 通告1番目、11番、上野耕志議員、総括方式で質問願います。

上野耕志議員。

○上野議員 おはようございます。

11番、上野耕志でございます。議長の許可を得ましたので、通告に従い一般質問をさせていただきます。

私の質問は2点ありまして、1点目は施政方針であった高齢者用スポーツ施設整備について、それから、2点目としまして、紀泉台地区の湧き水問題、これについてお伺いいたします。総括方式でやりますので、よろしくお願います。

まず1点目の質問ですけれども、全国で健康寿命アップ、この前の県政報告会でも、知事のほうからそういうお話もありました。そのための議論がなされておりますけれども、それに伴ってか、市長の施政方針においても、高齢者のスポーツについて述べられておりました。

また、同僚議員からも同一趣旨の意見書も提出されておりますけれども、改めて高齢者用スポーツ施設整備の新設計画について、現段階の計画をお伺いします。

それから、2点目の紀泉台の湧き水問題なんですけれども、昨年秋ごろから水が湧くというようなことを、パンダ公園という公園があるんですけれども、その周辺の住民の方がボランティアで草刈りをやっておりますけれども、水がグラウンドの土の上に浮いてきているというようなことを発見しまして、これは大変なことが起こるんじゃないかというような心配から、周辺の何軒かが寄って、なぜ、どうしたんやろうというようなことで心配しておりました。

そして、自治会長を通じまして、市のほうへ連絡したところ、早速見に来ていただいた。そして、地元の水道業者を通じて、重機をもって掘削したり、十数カ所掘削もしていただきました。そして、水の湧いている、あるいは水がたまっている箇所を確認して、いろんなことをやってくれまして、大変感謝をしております。しかし、いまだに原因がはっきりわかりません。

そこで、現在までの調査をしていただいた結果、あるいは経緯、そういうことをお伺いしたいと、こういうふうに思いますので、よろしくお願います。

○吉本議長 ただいまの質問に対する市当局の答弁を求めます。

市長。

○中芝市長 皆さん、おはようございます。

上野議員のご質問、高齢者用スポーツ施設整備についてをお答えいたします。

超高齢化社会を迎える中で、高齢者の方々が、日常的、継続的な医療、介護に依

存することなく、日々健康で生きがいを持って暮らしていける環境づくりは、これからの重要な課題であると考えています。中でも、スポーツに触れる機会を提供することは、健康の維持・増進、体力の向上に有効なだけでなく、精神的充足やストレスの軽減、さらには他人との交流やコミュニケーションの機会が得られ、社会参加が促されるといった利点があります。そのため、高齢者の方々に心身ともに健康で自立した生活を営んでいただくために、高齢者用スポーツ施設の整備を進めてまいります。

詳細については、事業部長から答弁させますので、よろしく申し上げます。

○吉本議長 事業部長。

○船戸事業部長 おはようございます。

まず、高齢者スポーツ施設整備についてですが、国庫補助事業の採択の条件となる都市計画決定を行うため、施設の場所や内容などにつきましては、平成29年度の基本設計により決定してまいります。

なお、施設につきましては、屋外スポーツを基本として、高齢者に人気の高いゲートボール、パークゴルフ、グラウンド・ゴルフ、ペタンクなどから選定してまいります。

次に、紀泉台地区の湧水問題についてお答えいたします。

まず1点目、これまでの調査内容及びその結果についてですが、平成28年11月7日に紀泉台自治会長より、山下公園（通称パンダ公園）中央部からの湧水発生の連絡がありました。当初は、水道管からの漏水を疑い、水質検査及び掘削による水道管の漏水調査を行いました。その結果、水道施設が原因でないことが判明しました。

この湧水の原因についてですが、公園内の複数箇所を掘削した際に、深さ30センチ程度のところに止水を目的とした厚み10センチのコンクリート板を確認しており、また、開発前の昭和33年の航空写真では、ちょうど公園部分に谷筋があり、和歌山県土地開発公社が開発していた当時から湧水が発生していたものと思われ。開発後、約40年経過していることから、経年劣化や草木の根によりコンクリート盤がひび割れ、今回、湧水が発生したものと考えています。

なお、京奈和自動車道のトンネル工事との因果関係について、国土交通省近畿地方整備局和歌山河川国道事務所に問い合わせたところ、トンネルと公園との距離が約400メートルも離れていること、湧水を調査した結果、アルカリ度数が低いこと、さらにトンネルは地下水を集めて排水するといった特徴があり、工事後、水位が下

がることはあっても、上がることは考えにくいとのことから、今回の湧水は、トンネル工事に起因するものではないとの回答でした。

市としましては、平成28年12月17日に住民説明会を開催し、湧水の状況等を説明した上で、パンダ公園からの湧水量の計測を週に一度実施しているところです。

次に、これからの対応についてですが、この公園はもともと湧水が多い箇所であるということに鑑み、湧水を排水しやすく、かつ湧水の状況を目で見えやすくするため、公園中央付近に集水ますを設け、そこから管渠で排水し、公園として復旧するとともに、湧水の経過観察を続けてまいります。

○吉本議長 再質問を許します。

上野耕志議員。

○上野議員 1点目の高齢者のスポーツ関係なんですけれども、先ほど答弁の中では、高齢者に人気の高いゲートボールあるいはパークゴルフ、グラウンド・ゴルフ、ペタンク等から選定していくとのことでした。現在、岩出市の体育協会に加盟している団体の協会名、そしてまたチーム名、あるいはその人数、会員数、これをひとつお聞かせ願いたいと思います。

それから、2点目の湧き水問題の件なんですけれども、今の答弁では、この公園といいますか、この地域はもともと湧き水が多いと。京奈和自動車道のトンネルは400メートル以上も離れているから問題ないんだというようなことを言うておられました。それから、公園の中央部に集水ますを設けて、水を排水するというところで、湧き水がおさまればいいんですけれども、経過の観察を徹底する中で、湧き水がおさまれば、皆さん心配なくなるんですが、おさまらない場合、市としては、今後どうということをお考えになっているのか。この2点をお願いします。

○吉本議長 ただいまの再質問に対する市当局の答弁を求めます。

事業部長。

○船戸事業部長 再質問にお答えします。

まず、高齢者用スポーツ施設のほうなんですけど、平成28年度の加盟団体等は、ゲートボール協会3チーム、22名、パークゴルフ協会1チーム、83名、グラウンド協会3チーム、116名、ペタンク協会1チーム、50名となっております。

それから、パンダ公園の湧き水がおさまらない場合ということですが、先ほどご答弁いたしましたとおり、この公園は開発時から湧水が発生しており、今後も湧き続けると思われますので、集水ますと管渠により、恒久的に排水していかなければならないと考えております。

○吉本議長 再々質問を許します。

上野耕志議員。

○上野議員 1点目の高齢者のスポーツ施設の件ですけれども、今の答弁では、唯一市内で施設がないのはパークゴルフ場でございます。それにもかかわらず、2番目に会員数の人数が多いということです。その理由はおわかりいただいているんでしょうかね。

私は、パークゴルフを七、八年前にある方に連れて行っていただいて、そして、今現在、紀美野町のふれあい広場にパークゴルフ場があります。そこで36ホールの本当にゴルフ場並みのミニチュア版ですね。そういうきれいな山を利用して、春には桜の花が咲き、それから秋には紅葉を見、そういうところで芝生を踏みながら、みんなでわいわいがやがやと、高齢者の方が楽しくスポーツをやっていると。

ただ、スポーツをやって歩くだけではなくて、みんなで大きな声で、ゴルフと同じですから、ゴルフの経験のない方、OBであるとか、あるいはバーディであるとか、そういう要望は難しいかもわかりませんが、70を回った、80過ぎた人もおられますけれども、本当に楽しく、OBや、ホールインワンやと言いながら、楽しくやっております。これこそ健康にいいスポーツではないかと。

グラウンド・ゴルフにしても、ゲートボールにしても、あるいはペタンクにしても、すぐ近くにできる場所が、スペースがそんなに要らないものですから、やっている人数があるんだと思うんですけれども、唯一、岩出市内に施設がないにもかかわらず、大勢の会員がおります。

協会を立ち上げてもらって、行政の協力を得まして、協会に入れていただいて、もう二、三年になるんですかね。それでも、今、八十三、四名の会員がおります。また、この4月19日の水曜日、ことし2回目の岩出市の協会のパークゴルフ大会というコンペがございまして、それにも約70名ぐらい、春だったら、もっと来るんですかね。そういう人数でコンペをします。平均年齢と申しますと、大体75歳ぐらいです。市長よりまだ1つ、2つ上の方が平均年齢で、80を超えた方も二、三名おります。私、4月で66歳になるんですけれども、私より10歳以上年上の方がほとんどですね。

それが、子供のころのように、大きな声で、さっき言ったように、「おう、入った。」「あっ、OBや。」「転がった。」と言いながら、わいわい、がやがやと本当に元気で、本当に80歳かなというような感じで回っておられます。

ただ、会場が紀美野町の山の上まで行かないかんで、9時スタートで、8時半

に集合となりますと、家を7時半には出ないかと。そうすると1時間ぐらいかかります。その車の運転が大変で、ちょっとよう行かんなどという人が、やっぱり年々、多少ふえてきております。そのかわり、新しい人もまた入ってきている。常に八十数名の岩出市の会員だけでもおりますけれども。

ぜひ、パークゴルフ以外の、今の3種目、これも大事なんですけれども、パークゴルフ場をできれば計画してやっていただいたら、もっと元気な高齢者がふえ、これは先ほど市長が言われたように、医療費の削減とか、あるいは入院する人が減るとか、そういう健康寿命アップにもつながると思いますし、もう1つは、パークゴルフを知らない人が多分多いと思うんです。これを近くで、1回行ってみると、何とおもしろい競技やなど。年いってもできるな。

これは高齢者だけじゃないんですね。平日は高齢者が時間がありますから、高齢者が多いんですが、土日に行ってみますと、家族連れ、親子で回って、あるいは友達同士の女性ばかりで回っている方もおります。ですから、どの年齢層でも男女関係なく、同じ条件で青いグリーンの上を歩いて、ゴルフのような感じで、ルールは少しありますけれども、少し覚えていただければ大変楽しいスポーツで、皆さん、元気に年いってもできる、こういうふうに思っております。

ですから、場所もまだどこにするのか決まってないようではございますけれども、今後、29年度で決定に近づけていくというのであれば、ペタンクやゲートボールや、あるいはグラウンド・ゴルフも含めてですけれども、岩出市にないパークゴルフ場、何とかつくっていただければ、元気な高齢者がふえていくんだらうと、こういうふうに思います。

ただ、予算的にほかの3種目のスポーツよりもつくるのに高くつくんですね。大体数億単位の金がかかると聞いております。これは、今、かつらぎ町で計画してつくりかけております。あと3年ぐらいしたらできるそうなんです。36ホールで約3.5ヘクタールぐらいの土地が要ると聞いております。36ホールあればコンペはできますので、他府県からも来てパークゴルフを楽しんでいただけるというようではございますけれども、これができても、これよりも、恐らく、紀美野町のほうが、あれは日本一と言われているんですね。北海道に幾つもあるんですけど。しかし、日本一と言われている紀美野町よりもいいもんつくろうと思ったら、かなりの金もかかるし、そういう風景の環境の整った山間の広場が要りますから、ちょっと無理かとも思うんですけれども、近くでパークゴルフのおもしろみを知っていただくため、検討課題の中の最優先課題として考えていただけたらと思うんですが、その辺についてお

伺いたします。

それから、湧き水問題ですけれども、きょう、傍聴席に、紀泉台の自主防災会のいつも一生懸命やってくれている方が傍聴に来てますけれども、常に自主防災会を中心に、紀泉台のあちこちを見て回って、例えば、富田病院の近くの調整池の水位が上がったとか、あるいは下がったとか、今のパンダ公園以外の場所からも水がちょっと湧いてるよというようなところもチェックしてくれています。

市のほうで、自治会長から去年連絡させていただいて、早速、いち早く穴を重機で掘削させていただいて、配水管からの漏水ではないかとか、あるいはどこから湧き水が湧いているのかとか、そういうことをやってくれたことについては、自治会全員、ほとんど感謝しております。

しかし、原因がつかめないまま、いまだに水がちょろちょろと出てきていると。パンダ公園というのは、現地見てもらったらわかるんですけども、山の裾野にあります、そんなに広い公園ではないんです。ただ、その下に何百軒という家が建ってます。そして、公園を囲っている擁壁自体、これは今の間知石のようなしっかりしたものではなくて、ちょっと細長いブロックの親方みたいなものを積んでいるだけのことで、これが水が飽和状態になって行き場がなくなったときに、その水が一気にブロックの擁壁を壊して、ざあっと土砂災害になった場合に、下の数十軒、何百軒という家が被害をこうむると。ですから、近隣に住んでいる人からいうと、本当の身の危険を感じているわけです。

以前、広島でもありました。田辺の山合いでも土砂災害があったと。だから、あれだけ、もう40年近くたっている紀泉台の土地が、そういうふうには崩壊することはないだろうと思ってずっときた中で、年末にそういう湧き水問題が起きたと。そうすると、やっぱりその近辺に住んでいる人からいうと、これは地震がゆったり、あるいは長雨が続きたり、未曾有の大豪雨が来たりしたときに、その擁壁が一気にどさっと来んかなという心配は今でも持っています。

市のほうで調査させていただいて、今のところ、トンネルの件も問題ないだろうという、国交省が調べていただいて大変ありがたいんですけども、いまだに、皆、不安に感じております。

私も紀泉台に住んでいます。山本議員も住んでいます。やっぱり紀泉台にいる人間は、みんな同じ思いであります。市のほうでやるとこまでやっていただいて、また、これからも監視していただくということですけども、自主防災会を中心に、紀泉台の自治会を含めて、そういう対策チームをつくって、自助・共助・公助でな

いですがけれども、自分たちの生命・財産を守るために、1回、研究・調査やってみようかというような話まで上がっております。

そこで、今まで一生懸命現場へ足を運んでいただいて、掘削していただいて、あるいはいろんな調査やっただいています。音を聞き、水を調べ、これはありがたいんですけども、今後、我々の対策チームが立ち上がって、そして調査・研究し出したときに、再度、また市のほうに無理をお願いせないかんようなことも生じる可能性が十分あります。

そのときに、やっぱりご協力いただけるかどうかということを確認したいと思っておりますので、ご答弁よろしくをお願いします。

○吉本議長 ただいまの再々質問に対する市当局の答弁を求めます。

事業部長。

○船戸事業部長 上野議員の再々質問にお答えします。

まず、高齢者スポーツ施設の競技の選定についてなんですが、先ほどの各協会と相談しながら、今のご意見も参考にして決めていきたいと考えております。

それと、パンダ公園の湧水についてなんですが、今後、湧水の経過観察をしていく中で、その体制をきっちり整え、地元の方々とも協力しながら、国や県に情報提供して、相談もして、観察を続けていきたいと、そう考えております。

○吉本議長 以上で、上野耕志議員の一般質問を終わります。